

開創一千三百年

記念 大開帳



醫王山
来迎院

神武寺

森閑と、息づく扉が

開かれる――。



期間

令和6年

11月18日(月)～11月24日(日)

午前9時～午後4時

※期間中 駐車場は使用できません

イベント

- ① 本尊薬師如来 特別開帳(薬師堂)
- ② 十一面観音菩薩像 特別参拝(客殿)
逗子市重要文化財 新規指定記念
- ③ 特別法要(薬師堂) 11月24日(日) 午後1時～
天台声明／稚児行列／お抹茶 接待 他

◆ 特別拝観料：500円

醫王山 来迎院 神武寺

〒249-0004 神奈川県逗子市沼間2-1402



◀ HP



◀ LINE

神武寺

— 開創の物語 —

神亀元年（724年）の正月二日の夜、奈良の帝（聖武天皇）は夢の中で、晴れ渡った東の空の妙なる雲の中に金色の宝塔をご覧になりました。その塔の中から青い衣を着た童女達が現れて玉の簾（すだれ）を上げると薬師如来が御影（みかげ）を現しました。そして、「私は扶桑（日本）にまだ衆生を救う縁が残っているので、仏の世界には戻らず、住まいを畝火山の御陵（檀原にある神武天皇の陵墓）から東にあるこの嶽（たけ）に移すことにする。山は熊野の三つの峯と同じである」と告げました。

夢から覚めた帝は非常に不思議に思い、この夢について行基沙門に尋ねました。行基は、「初代神武天皇が建国し、長い間人民が安楽に暮らすことができたのは薬師如来の加護によるものなのです」と答えました。

そして、行基は帝の命を受け、この山に入り草庵（そうあん）を結び、「私は未熟な僧ですが、末代の衆生のために生身の薬師如来を拝みたい」と誓願（せいがん）を立てて祈り続けました。するとある日、嵐が吹き成沢の大地が割れて東の山端に十二面観音の尊像が現れました。その後、足白の鷹に導かれて鷹鳥の嶽（現在の鷹取山）を開き、ついに薬師如来が出現しました。

行基は一刀三礼して三体の仏像を刻み、熊野三山にならって東の峯には本宮として十二面観音の秘仏を、北の峯には那智山として釈迦如来の秘仏を、南の峯は新宮として薬師如来を安置して、医王山神武寺と名付けました。（『神武寺御縁起』より）

特別参拝、特別法要のご案内

古代からの絶え間ない数多くの人々の信仰に支えられ、令和6年（2024年）神武寺は開創1300年を迎えます



特別参拝①



秘仏 本尊薬師如来像
33年に一度しか開くことのない扉を開け、ご本尊さまを特別にご参拝いただけます。

特別参拝②



十一面観世音菩薩像
えがらてんじんしゃ
明治初年の神仏分離の際、鎌倉荏柄天神社から遷座したと伝わる像。この度、逗子市の重要文化財に指定されました。

特別法要 11月24日 日 午後1時～



稚児行列と天台声明（仏教音楽）など
※稚児行列ご参加者を先着順にて募集いたします。
ご希望の方は右のお問い合わせQRコードか、
☎046-871-4565までご連絡ください。



お問い合わせ

アクセス

JR 横須賀線「東逗子駅」より徒歩20分
京急「神武寺駅」より徒歩40分

※いづれも山道となります。足の不自由な方はJR逗子駅よりタクシーの利用が便利です。

次の百年後、千年後に向けて
多くの皆様のご理解とご支援を給わりますよう
心よりお願い申し上げます。

